

7月例会－シンポジウム兼サロン夏合宿1報告

8月3日と10日に行われた「ワールドカップ総括シンポジウム」は、告知方法・期間に多くの課題を残したものの、内容的には非常に密度の濃い、充実したものとなりました。演者（会員）の長岡茂さん、宮城島清也さん、村林裕さん、賀川浩さん、橋本潤子さん、宇都宮徹壺さん、及びゲストとして話をして下さったスーザン木下さん、ありがとうございます。また、事務局の加納樹里さん、津田綾女さん、当日手伝ってくださった多くの皆様、ありがとうございます。

次は報告書作成です。今もテープ起こしや校正などで、いろいろな方が作業しています。できるだけ多くの方がこのプロジェクトに関わり、よい成果を残して次へつなげられることを願っております。

内容の詳細については後日発行される報告書に掲載するとして、ここでは当日の様子を簡単に振り返ってみます。

<ワールドカップ総括シンポジウム報告>

【東京会場】8月3日（土）13：30～17：30 東京体育館第一研修室

「"ささえる物語"を中心に」というサブタイトルで行われた東京会場の参加者は約60名。大会運営に大きくかかわった3名の演者の話は具体的で、非常に興味深いものであった。15分の休憩をはさんでのディスカッションではフロアーからも活発な意見が出され、多くの"物語"が紹介された。

信濃町の「ジョン万次郎」で行われた2次会には25名が参加した。酔っ払う前に、自己紹介を兼ねて「ワールドカップの一番の思い出」を出し合ったところ、これがまた非常に面白く、いろんな"物語"があるもんなやなあと思った（詳細略）。もう1軒行ったのは言うまでもない。最後は新宿で始発まで飲んでる奴が4人いた（誰かは秘密）。

各演者のプレゼン概要は以下のとおり。

★長岡茂氏

JAWOC茨城支部で運営に携わった経験から、主に以下のような話をされた

- 1) 日本と韓国の運営面におけるギャップについて
- 2) マッチスケジュールの組み方をめぐって
- 3) 茨城会場に来た参加国について
- 4) 茨城会場のボランティアについて
- 5) パブリックビューイングについて
- 6) 茨城会場のホスピタリティについて

★村林裕氏

宮城会場のベニューコーディネーターとして運営に携わった経験から、主に以下のような話をされた。

- 1) ベニューコーディネーターとは
- 2) 宮城会場の運営全般を通して感じたこと
- 3) 宮城会場の3試合について

★宮城島清也氏

清水市ワールドカップ推進本部スタッフとしてロシアのベースキャンプ受け入れに携わった経験から、主に以下のような話をされた。

- 1) ロシア代表が清水を選ぶまでの経緯について
- 2) ロシア代表受け入れの3つの目的について
 - (1)ロシアチームが活躍できる最高の環境を提供する
 - (2)トップレベルのスポーツを通じた国際交流とスポーツ振興
 - (3)ワールドカップを機とした地域の活性化と経済効果
- 3) ワールドカップで得たことについて

「詳細は後日発行される"ワールドカップ総括シンポジウム報告書"参照一本HPでも順次アップしていきます」